

- ・個別の検討事項は、ニーズ検討会の下に設置するワーキンググループにて評価する。
- ・診療分野を考慮し、最大8名程度からなる7つのワーキンググループ(WG)を設置する。
- ・各WGは専門領域を考慮するとともに、各WGの専門領域以外の公衆衛生や臨床研究などの専門家も参加する。
- ・複数の領域にまたがる品目や小児領域の品目である場合は、他のWGに所属する委員が当該WGに参加することができる。

医療ニーズの高い医療機器等の早期導入に関する検討会

評価指示 ↓ ↑ 評価結果の報告

ワーキンググループ(WG)

WG1
眼科、耳鼻咽喉
科領域

WG2
歯科、整形外科、
形成外科領域

WG3
消化器、泌尿器科、
産婦人科領域

WG4
循環器、呼吸器
領域

WG5
脳・神経、精神
領域

WG6
臨床検査領域

WG7
放射線、救急、
麻酔その他領域

<評価内容>

- 医療上の必要性(要望の妥当性)
- 要望内容に係る国内と海外の医療実態の違い
- その他(今後必要と思われる評価、留意事項等)